

近藤伸子

20世紀のピアノ曲 V - シェーンベルクのタブ

シェーンベルクほど初期と後期の作品の差が激しい作曲家はいないでしょう。後期ロマン派の官能的な世界から無調の表現主義を経てストイックな十二音技法へ…ピアノ作品全曲を軸に、初期の調性時代の傑作「浄夜」(トリオ版)を加え、そのドラマティックな変遷を辿ります。

Kondo Nobuko Plays Schönberg



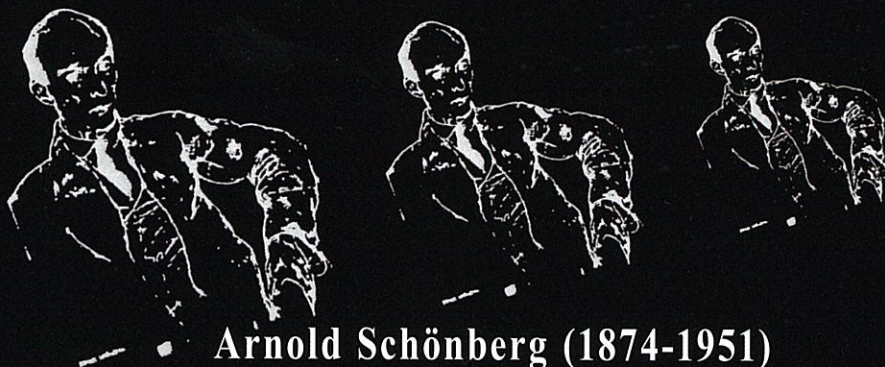
佐藤まどか



近藤伸子



菊地知也



Arnold Schönberg (1874-1951)

- 3つのピアノ曲 *Drei Klavierstücke Op.11 (1909)*
- 6つのピアノ小品 *Sechs kleine Klavierstücke Op.19 (1911)*
- 5つのピアノ曲 *Fünf Klavierstücke Op.23 (1920-3)*
- ピアノ組曲 *Suite für Klavier Op.25 (1921-3)*
- ピアノ曲 *Klavierstücke Op.33a / 33b (1928/1931)*

ヴァイオリンとピアノのためのファンタジー
浄夜(シュトイアマン編曲トリオ版)

Fantasie Op.47 (1949)

Verklärte Nacht Op.4 (1899) bearbeitet von E. Steuermann

2010 **11/1** (月) 19:00 開演

浜離宮朝日ホール
大江戸線 築地市場駅 (A2出口)

一般 ¥4,000 学生 ¥2,000 (全席自由)

■電話予約・お問い合わせ = 東京コンサーツ
03-3226-9755 FAX 03-3226-9882
<http://www.tokyo-concerts.co.jp>
(東京コンサーツHPで予約、セブンイレブンで
支払いと受け取りが出来ます)

■前売り = 東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452
チケットぴあ 0570-02-9999
<http://www.pia.co.jp> (Pコード:116-016)

■後援 = ドイツ学術交流会(DAAD)
アルバン・ベルク協会

このリサイタルは、国立音楽大学個人研究費(特別支給)の助成を受けています。





Piano



Violin



Cello

近藤伸子 KONDO Nobuko

国立音楽大学附属中学校・高校を経て、1980年東京藝術大学器楽科入学。同大学院博士課程修了。シュトックハウゼンのピアノ曲に関する論文と演奏で博士号取得。文化放送音楽賞受賞。1986～88年ドイツ学術交流会(DAAD)奨学生としてベルリン芸術大学へ留学。最優秀の成績で卒業。A・シュナーベルコンクールで1位なしの第2位、受賞コンサートでの演奏は「ターゲス・シュピーゲル」紙で絶賛される。プツェ国際コンクール入賞。ベルリン交響楽団、東京交響楽団他多数のオーケストラと共演。現代曲や新作初演にも意欲的に取り組み、1993年にはリサイタルシリーズ《20世紀のピアノ曲》を開始。また、近年はJ.S.バッハの作品も集中的に取りあげ、特に2000年および2005年の《平均律クラヴィア曲集第1・II巻》全曲によるリサイタルは高い評価を得た。ピアノを井上初子、高良芳枝、安川加壽子、小林仁、K・ヘルヴィヒ、G・シェベック、室内楽をH・ビュイグロジェ、本荘玲子の各氏に師事。現在、国立音楽大学准教授。
http://www.kondonobuko.net/

佐藤まどか SATO Madoka

東京藝術大学附属音楽高校、同大学、同大学院博士後期課程修了。この間イギリス、オーストリア、フィンランドにて研鑽を積み、2005年シベリウスの研究で博士号を取得。これまで中野熊雄、坂本満智子、中川正子、井上霈、澤和樹、沼田園子、B.カトーナ、浦川直也、G.ボッセ、宗倫匡の各氏に師事。シベリウス国際ヴァイオリンコンクール第3位をはじめとして、プラハの春国際音楽コンクールヴァイオリン部門特別賞受賞、ヴァクラフ・フムル国際ヴァイオリンコンクール第2位(最高位)入賞、ロドルフォ・リピツァー国際ヴァイオリンコンクール第4位(1位なし)入賞。シベリウスをライフワークとして、シベリウスのヴァイオリン作品集vol.1『子守唄』、vol.2『ノヴェレツェ』(ALM)、『シベリウス全集・第6巻』(BIS)に世界初録音をリリース、ともに高い評価を受ける。ソリストとしての活動を中心に、国内外で室内楽や現代音楽など多彩な演奏活動を行っている。上野学園大学講師。日本シベリウス協会理事。

菊地知也 KIKUCHI Tomoyuki

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て東京藝術大学音楽学部卒業。第6、8回霧島国際音楽祭にて奨励賞受賞。東京藝術大学にて安宅賞受賞。第60回日本音楽コンクール第1位、併せて増沢賞、特別賞受賞。第4回日本室内楽コンクール第1位、併せて東京都知事賞受賞。第1回全日本ビバホール・チェロコンクール第1位。霧島国際音楽祭、宮崎国際音楽祭、木曽福島音楽祭、湯布院音楽祭、ひろびろ音楽祭、沖縄ムーン・ビーチ・ミュージック・フェスティバル、オホーツク音楽祭等に参加。現在、紀尾井シンフォニエッタ東京、アルファ弦楽四重奏団、アンサンブル・ノマド、パロック21、アンサンブル・ロココのメンバー。日本フィルハーモニー交響楽団ソロ・チェリスト。東京藝術大学、桐朋学園大学、桐朋学園芸術短期大学非常勤講師。

リサイタル評より

◆2002年5月《20世紀のピアノ曲 III》

ードラマティックなリサイタルー
(前略)調性が崩壊し、語法が拡散していった20世紀の作品に積極的な解釈と演奏を試みようという動きは、まだごく少数派にすぎない。そうしたなかで近藤の演奏は、作品の魅力と奥深さを全身で表現する意欲的なもの。(中略) ナンカロウ《アーシュラのための2つのカノン》は抜群のリズム感と高度なテクニックが要求される作品。難易度の高さを感じさせず、コミカルな様相さえ呈した快演だった。武満徹《閉じた眼I》《閉じた眼II》の後は、クセナキス《エブリアリ》。ピアニストを極限状態に追い込むような難易度の高い作品を、圧倒させるような集中力を保ちながらバフアルに演奏した。

(湯浅玲子氏評 - ムジカノーヴァ2002年9月号)

◆2008年10月《20世紀のピアノ曲 IV》

ーこれをやった意義は大きいー
シュトックハウゼン (1928-2007)追悼として初期から晩年までピアノを伴う作品を聴く。近藤による詳細な解説と譜例付プログラムは読み応え充分。《ピアノ曲 I-IV》(1952/53)はシュトックハウゼンに想いを捧げるように丁寧に演奏された。《自然の持続時間》(2005/06)より13、14、21 は、21が日本初演でガムラン的響きが興味深い。(中略) 後半はBrの松平敬を迎え《ルシファーの夢ピアノ曲XIII》(1981)で玩具のミサイルを撃ったり、ピアノを叩いたりお尻を鍵盤にのせたり、凄まじい世界を展開。これをやった意義は大きい。

(西耕一氏評 - 音楽現代 2009年1月号)

CD 好評発売中

近代から現代曲と20世紀のピアノ作品を意欲的に取り組んでいるピアニスト、近藤伸子。躍進をピアノニズム、ダイナミズムに満ちたアルバム。注目のCDデビュー!!

近藤伸子 新ウィーン楽派 ピアノ作品集

シェーンベルク:
3つのピアノ曲 Op.11/8つのピアノ小品 Op.19/
5つのピアノ曲 Op.23/組曲 Op.25/
ピアノ曲 Op.33-a/ピアノ曲 Op.33-b/3つのピアノ曲(1894年 習作)

ウェーベルン: 変奏曲 Op.27/子供のための小品

ベルク: ソナタ Op.1

近藤伸子(こんどうのぶこ)ピアノ
2004年10月18-19日 東京・大塚学園ホール/録音セッション

●WWCC-7489 ¥2,625(税込)

全体に練り上げられた完成度の高い演奏で、数ある「新ウィーン楽派ピアノ曲集」のなかでも重要な一枚になるだろう。

(三橋圭介氏評 - 音楽現代2005年5月号)

●制作・発売元:ナミレコードCo.,Ltd.
TEL 03-3440-5542
(CD受注専用FAX) 03-3440-5401
http://www.nami-records.co.jp

LIVE NOTES
●全曲の主眼しコード付(楽譜)

近現代作品の演奏と共に評価の高い近藤伸子のバッハ。その洗練された奥深い世界。

近藤伸子 J.S.バッハ:トッカータ全7曲

J.S. バッハ:トッカータ BWV910-916 全7曲
近藤伸子(ピアノ/こんどうのぶこ)
2008年10月17-18日 三鷹市芸術文化センター風のホール/録音セッション

●WWCC-7550 ¥2625(税込)

哲学的な相貌と思索的な趣があり、それと肉体的なダイナミズムや情熱が不思議なバランスで同居している...

(那須田務氏評 - レコード芸術2007年6月号)